

祝 自治会だより100号記念座談会

「自治会だより」100号発行を記念して、昭和50年に芥見広報会連合会から分離独立した芥見東広報会連合会(当時)の初代連合会長の渡辺幸さん、7代目連合会長の田中靖男さん、9代目(現在)連合会長の多田喜代則さん及び連合会顧問の玉田和浩さんに連合会についてのお話をうかがいました。

多田 今日はお集まりいただきましてありがとうございます。我々平成18年4月からほとんどの役員が交代して今の体制が出来たんですけども、その年の5月から「自治会だより」を毎月発行しておりまして、丁度この8月1日号で100号になります。前から何か100号の時に記念することをやりたいなと思っておった矢先に、今年連合会が出来て40年、渡辺さんが作られてから40年ということもありますので、その両方かけまして今日お話しいただいたことを8月1日号に特集的に載せたいな、ということで渡辺さんと田中さん、それに全てを見届けていただいている玉田顧問さんに私も交えまして、お話し合いをしたいと思いますのでどうぞよろしくお願いいたします。

自由なお話で総まとめの玉田顧問さんから連合会発足時の状況、お二人には連合会長としてご苦労されたこと、現在及びこれからの連合会のありかたなどについて経過も含めてお話しいただければありがたい。

玉田 今日は40周年ということもありますが、初代の連合会長渡辺幸さんも来てくれてますが、まあ芥見から分離した時にいちばん最初に立ち上げなければならぬのは連合会、というわけがありますのでそこあたりのご苦労は、幸さんちょっとお話し下さい。

渡辺 まず最初は何にもない所に来たと非常に驚いた。特に雨の日はバス停から帰るのに赤土やら、がら石やらで長靴が無いと家に帰れなかった。それから公民館がなかなかできなかったから会合する場所が無いんで当時の役員5人が集まって、自宅で会合をやり、家内が冷麦などの簡単な物を出してくれて夕方から空が白む夜明けまでやったことが何回もあります。家でやらなくてもい



田中靖男様 渡辺幸様 多田

いようになるまでのこの間の苦労は大変なものだった。雨が降った時には北山の浄化槽がすぐ満杯になってしまう、ほんとに色んなものが流れていてシャツやおむつが詰まっている時もありました。

当時民生委員さんが高齢の女性だったので夜中に代わって訪ねました、まだ団地には頼る人がいなかった。今は皆さん仲良くなって住みやすくなった。世の中っていうのは組織やで助けてもらわな一般の我々だけではどうにもならぬ。

玉田 40年前はみんな現役なので、新しく校区を作ろうと思うと昼間は出来ないの夜の会合ばかりで。それで大変ご苦労された中で連合会を立ち上げないかとゆうことや、連合会の役員を選出するのに私が一番頼んだのは大洞。当時は70戸、現在は80戸やがそこに何千所帯の団地が出来たということ

でどうしても昔から部落根性ということが出てくるわけやな、それで連合会の役員に大洞からも入れてもらいたいと話をしました。団地は大勢やし、とにかく副会長に入れてもらった。団地と旧部落と、という話があるしまた後々学校の事で色々お願いしなあかんということもるので入れてもらった。連合会もそうやし、各種団体も作ってかないかん。もともと芥見の時、各種団体は連合会の中にあつたわけや、当時は体育協会、青少年と2つあった。今度こっちで新たに作る時は連合会、体振、青少年を横並びに作りました。



玉田

多田 私もいっぺん聞いたことがあるんだけど東海北陸道が北山通るのを関の方へ変更した時の話は？

玉田 東海北陸道が北山を通ると分断されてまう、それでは困るとゆうことで、北山が猛反対でほんとはその高速道は予算決定してしまっ、変えるゆうことはなかなか至難の業やったんやけど、期成同盟会作って反対しました。あれがほんとにここにありと分断されてまうのでそれで真っ向から反対してました。むしろ旗立ててやると言っ、すごい勢いやつたあの時は。強い団結力が自然と固まりました。

多田 田中さんは11年からですね、じゃあ田中さんお願いします。

田中 平成7年に北山の自治会長をやり、その後連合

会長をやる前だったと思います。忘れもしないんですけど、東山の老人が行方不明になりまして、そういう連絡が入ったもんですから、私が団体に声かけたら皆さん積極的に集まってくれて、何日もですが班を編成して搜索活動しましたが、その老人は残念ながらその時は見つかりませんでした。皆さん出てきて搜索活動して、その時中署の防犯課の係長が何回か見に来てくれて感心されてね、「こんな地域、私ら地域担当やっとならあつちこつちの地域色々かかわるとんやけど、こんなに地元のまとまりが良くて協力体制の良いところは初めて見た」といってほめてくれました。

大洞の山火事、連合会としては特に何もなかったんですけど、住民代表というような形で消防隊やそれぞれ消火活動してくれた方々にお礼と激励とかかねて行かさせていただきました。その時に感心したのはですね、特に大

洞地区の皆さんの団結力ってゆうんですかね、協力体制。私が出向きますと「連合会長わしらに指揮してくれ、何せい言われたらその通りやるから炊き出ししましょうか」って言ってきて非常に感激したですわ。その後のいろんな団体の会合、皆様の集まる時を捕まえては大洞がこんな協力体制取ってくれたこと、皆さんもぜひ地域でなんかあつたらそういうことをやってくれとお話しました。

玉田 それから芥見東と南とは校区が大きくなったので校区を分離しました。南を分離したときに苦労したのは線引き。山田川で線引きするとこれが一番妥当なんだけど、ところが大洞がそれではどもならんと反対して。普通は山田川でパツと切るのが妥当なんやけど、そうゆう苦労がありました。

多田 長時間になってしまいましたけど大変貴重なお話を聞いてありがとうございます。また40周年記念式典もございましてのご案内申し上げますのでよろしくお祈いします、ありがとうございました。

田中 平成7年に北山の自治会長をやり、その後連合会長をやる前だったと思

平成14年4月5日 大洞の山火事



会長をやる前だったと思



40周年記念連合会長座談会に思うこと

一芥見東自治会連合会長・多田 喜代則

このたび「芥見東自治会だより」の発刊100号を記念して、先輩連合会長さんと玉田和浩顧問さんとの座談会に参加させていただきました。

初代連合会長の渡辺幸さんからは、芥見広報連合会から分離独立するときの大変さをお聞きしました。

住宅団地がどんどん建設され新しい住民が急増する中、若い世代の皆さんを連合会という組織にまとめ、役職を決め誰にやっていたかかを短期間のうちに固めなければならぬ状況は大変なこととお察し申し上げます。また第7代連合会長の田中靖男さんには、平成14年4月に発生した山火事の時の対応や、大洞地区の住民の皆さんの献身的なお申し出などを伺いました。これまた地域のトップとしてのリーダーシップあり方について教えていただきました。

そのほか、東海北陸自動車道ルート変更の核心などについて聞かせていただき、当初から現在までこの地域のすべてに関わっていただいていた、玉田顧問さんのお話は大変興味深く今後の参考になることばかりでした。

連合会が40周年を迎えたこの時期に、地域の皆さんにお知らせすることができてとても意義深く感じた次第でございます。

☆トリオティラミスコンサート→8月9日(土)
会場:鳳ふれあいホール
生の演奏をお楽しみください

配布
大洞 4-72
東山 4-51
北山 38-361
北山 5-89
桜台 23-332
桜市 40-263
柏台 31-329
柏市 26-191
桐丘 23-200
桐市 6-38
紅葉 21-263
紅市 16-114
桜2P 1-22
計 237
/2325

☆夏まつり・盆踊り大会→8月2日(土)午後3時30分トーマス号運行開始

4時0分ピンゴゲームカード配布開始(先着500名)

☆敬老会→9月14日(日)午前10時受付開始 会場 東部コミュニティセンター 今年のアトラクションは「落語」です お楽しみに

*「こうしては？」のご意見や話題・知恵・要望などを、ご連絡先を付して東公民館ポストまでお寄せください

☆新成人を祝い励ます会→平成27年1月11日(日)午後1時30分受付開始 会場 東部コミュニティセンター 今年からアトラクションを開催する予定です

見守り愛チーム 日本の未来が見えました

—大阪ガス（株）エネルギー・文化研究所（CEL） 所長代理・加賀城 俊正さん

私がある大阪ガスのエネルギー・文化研究所は、地域社会のお役に立つ活動を目指し、住民の方々と、コミュニティの減災活動やつながり作りなどを進めています。



大阪などでは、隣の方の顔も知らないなど、人間関係の希薄化が進み、高齢者の孤立や災害時の対応等に問題意識を持っています。

そんな中、見守り愛チームという言葉を見つけ、6月30日に貴連合会を訪問させて頂き、日本の未来のあるべき姿がそこにある、と感じたのです。

少子高齢化が進み、公共サービスにも限界が予想される中、地域の人々が支え合う“共助”が大切になるのではないかと考えていました。

ところが、「見守り愛チーム」を自治会全体で編成し、更にボランティアによる「小さな手助け」が始まり、まさに地域で支え合う活動が形になっていました。うわべだけでなく、個人を尊重し、頼まれたこと以外は干渉しない、大きな手助けや、長期継続の手助けは断るなどの方針をはじめ、本当に機能する様々な考慮がされていました。

ご説明いただいた会長、副会長、理事や、見守り愛チームのリーダーの方々などの、見えない大変なご苦労や、頑張りがあったのではないのでしょうか。坂道をゆるやかにおりてくる、鮮やかな黄色の“みどりっこバス”、それを支えるヘルパーの方々なども含め、地域として幸せに暮らす様子がうかがえました。日本の未来に明かりをともしているようで、なせばなんとかなる勇気もいただきました。会長は、謙虚に現実を見つめ、まだまだ課題があり、10年かけて立派な活動にしたいと言われています。背伸びせず、着実に地域のために取組まれる姿も印象的です。学びを関西での地域づくりに活かして行きます。

6月28日芥見東公民館の古紙回収ボックスにフライパンが！！
フライパンは月1回の分別回収へ。



視察研修 “愛” あふれる芥見東を訪れて

—奈良県橿原市新沢地区自治委員会会長・堀野 威さん
過日はお忙しい中、芥見東地区におけるコミュニティ活動についてご教示いただき、まことにありがとうございます。

私たち新沢地区は、奈良県橿原市の南西部に位置し、現在約2,200世帯、約5,500人を擁しております。地区の大半は農村地帯で旧村地域の住民と、県営住宅や新興住宅地域の住民が半々です。また、65歳以上の人口は年々増加傾向にあり、現在では25%超の高齢化率となっています。それに伴い少子化問題も顕著です。

多くの自治会が抱えている、少子高齢化に伴う「地域福祉」「公共交通」問題等に私たちも直面し、役員一同頭をなやませながら日々活動に取り組んでいるところです。

そのような中、インターネットを通じて芥見東地区における「見守り愛チーム」の活動、「みどりっこバス」の運行を知り、視察研修をお願いしたわけでありました。

当初、私たちは貴地区における諸活動の成果にばかり目を奪われておりましたが、研修を通じましてその成果の陰に在る、活動に携わる方々の「1に努力、2に努力、3に努力の熱い姿勢」、そしてそれを支えている「地域・地域住民への“愛”」を感じ、非常に感銘を受けたところです。



特に「みどりっこバス」のボランティア活動には、地域活動のあるべき姿が凝縮されていると感じました。乗り合わせたバスが人と人のふれあいの場となり、そこから地域を愛する心が生まれ、そして、まちづくりにつながっていく。

今回の研修で学ばせていただいたことを参考に、私たち役員も、もう一度地域を見つめなおし、次の一歩を踏み出してまいりたいと思います。困った時には、ご助言を請うかもしれませんが今後とも何卒よろしくお願い申し上げます。

“愛”あふれる芥見東地区の益々のご発展を心よりお祈り申し上げます。

みどりっこバス今年も「元気をもらえろ」みどりっこバス中学生ヘルパーが23名交代で乗車してくれ、よろしくお願ひします。ありがとうございます。

少年軟式野球 全国大会 松本君ガンバレ

—芥見東スポーツ少年団団長・鳥澤 敏夫さん

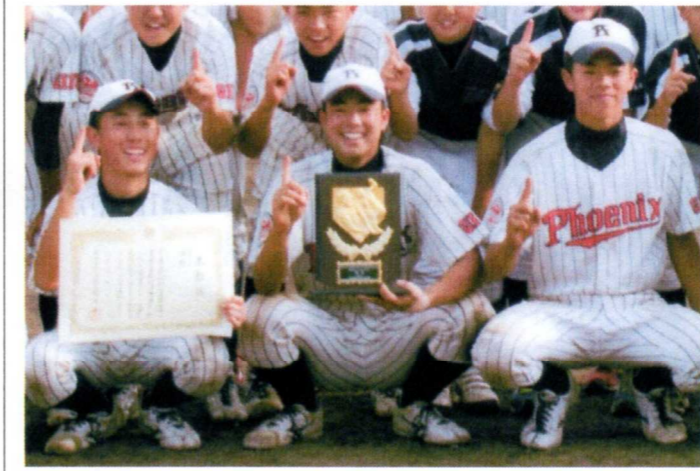
8月に横浜市で開かれる、全日本少年野球選手権大会に藍川東中3年の松本航輝君(14)が、岐阜フェニックスベースボールクラブのメンバーとして、岐阜市大会、岐阜県大会、東海大会を制し、中学校の甲子園とも呼ばれる全国大会に、岐阜市から25年ぶりに出場を決めました。

芥見東スポーツ少年団では投手を務めフェニックスに入り、キャプテンで1番打者。今年から捕手に転向し見事全国大会に出場を果たしました。



8月11日から横浜球場で始まります大会で、全国制覇を！！

松本君 ガンバレ



人権 「障害者差別解消法」が成立！！

—身体障害者福祉協会分会長・五十川 勝也さん
標記の法律が平成25年6月19日に成立しました。施行日は、平成28年4月1日です。

この法律は、26の条文と附則からできている法律で、障害を理由とする差別の解消を推進することにより、すべての国民が障害の有無によって分け隔てられることなく、相互に人格と個性を尊重し合いながら共生する社会の実現を目指し、主に次の事を定めています。

- ①障害に基づくあらゆる差別の禁止
②障害者が社会に参加し包容されることを促進
③条例の実施を監視する枠組みの設置など

今後「障害に基づく差別」とはどんな事なのか、事例も明示されます。また差別に関する相談や紛争の防止、解決の取り組みを進めるため、国や地方公共団体の機関が、それぞれの地域で障害者差別解消支援地域協議会を組織できることになっています。

防災訓練 より良い訓練へ、ご意見を

—芥見東自治会連合会厚生部会長・玉田 昇三

朝早くから、また暑い中、防災訓練に参加いただきご苦勞様でした。参加者2,097名と過去に無い多くの方に参加していただきました。今年も「芥見東小学校と藍川東中学校の全生徒と先生」の参加がありました。多くの住民の皆さんの災害に対する意識の高さもあって参加者が多かったと思っています。

＜各訓練箇所を見させていただいた中から＞

- 1. 私が車で柏台公園に移動中、見守り愛チームのリーダーが各家を回って安否確認されているのを見ました・・・「安否確認できましたか」と聞きましたら「各家を回っています」とのこと。
2. ある訓練場所で、住民の方たちが10人ほど集まって「これから何をしたらいいのや暑いのに！」という声が・・・訓練内容ごとに「誰が指導者、どこの班・自治会が参加するのか」事前に決めておくようお願いしてありましたが出来ていませんでした・・・残念。
3. 竹と毛布を使つての担架の作り方、乗り方「運ぶとき頭を先に上げる、降ろすときは足を先に降ろす」・・・日赤奉仕団の方から教えていただいて「聞く当たり前の事でしたが気が付けなかった」と話し声が・・・。
4. 中学3年生の土嚢作りでは、男女の生徒が額に大粒の汗をかきながら、土の入ったビニール袋の縛る位置と手と膝を使って凹みを作り十字に「しおり結び」で縛っていました・・・水防団の指導者からは、縄を緩めないように凹みにしっかり食い込ませ結ぶように指導されていました。出来上がった土嚢を見て「汗を流しながらの笑顔」が最高でした。

これからも防災訓練をより良いものにしていくためにも、皆様のご意見をお待ちしています。ご意見は各支部長さんにご連絡いただくようよろしくお願いいたします。



☆みどりっこマーケット→8月6日(水)10時〜13時30分 会場 パーセルレジとあかのれん間の通路 趣味の手作り作品を販売します